



京都 YWCA

3 2019

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

外国ルーツの子どもたちに寄り添って ～にほんご教室「洛楽」の新たな取り組み～

京都 YWCA にほんご教室「洛楽」は今から 25 年前に有志の会員によって立ち上げられました。その間、毎年 30 ～ 40 名の日本語学習者の方々をボランティアでサポートしてきましたが、ここ最近では学習者が急激に増え年間 80 名に近づいてきました。

受講の目的は様々ですが、京都の大学の留学生や研究者、日本人と結婚し京都で生活を始めた方々が多くいらっしゃいます。

子どもの日本語支援は？

今までにも数少ないケースでしたが、子どもを対象にしたサポートも行ってきました。いずれのケースも地元の小・中学校に在籍している児童・生徒で、学校の学習を補うための日本語支援でした。子どもの若く柔らかい頭は級友と日々過ごすことで瞬く間に「生活の日本語」は身につけることができます。しかし、「教科の日本語」はやはりサポートを要するのです。

在籍する学校がないケース

「洛楽」が昨夏から取り組み始めたサポートは、今までとは少し違うケースです。中学を卒業後来日した場合、「学齢超過」という問題が立ちはだかります。この場合改めて日本の中学校に通うことは非常に困難ですし、高校受験を目指そうにも毎日学べる場や居場所がありません。また、在籍校がないため、行政のデータにもカウントされず公的支援が得られません。現在「洛楽」でサポートしている少年は、たまたま保護者が京都 YWCA に相談に来られ、日本語支援に結び付けました。しかし、支援情報を持たず誰にも相談できてい

ないケースがどのくらいあるのか把握できていません。多感な時期に同年代の仲間と様々な経験をする事なく、わからない言葉に囲まれ孤独に日々を過ごしている子どもたちが今後益々増えていくことが予想されます。

私たちにできること

「洛楽」では、週に 2 回（高校受験が迫った 1 月からは週 3 回）、1 回 2 時間の授業を 4 人の講師が交代で担当しています。また、日中できる限り彼が一人で閉じこもっている時間がないように、「洛楽」の他の授業への参加、YWCA の「うららかふえ」でのお手伝い、イベントの準備・参加等、「洛楽」が所属する京都 YWCA 多文化共生委員会と共に一丸となって居場所づくりをしています。ほかにも京都府下の複数の日本語教室と連携をとり、科目の勉強を含めバックアップしています。

スタート当初、心細げだった彼の表情はイキイキと明るくなり、自分の思いを少しずつ日本語で伝えてくれるようになり、私たちもますます応援に力が入ります。

日本語学習機会の保障を

しかし、行政の踏み込んだ支援がない限り、各地域の日本語教室頼みでは限界があります。都道府県による対応の違いも大きいようです。京都は外国から多数の観光客が訪れてにぎわっていますが、日々生活をしている外国ルーツの方々、特にこれからの未来を担う子どもたちへの教育について、現状を広く知っていただき、明確な制度作りにつながるよう要望します。

(中川 美佳子)



日本語を勉強中



YWCA のカフェでお手伝い

2.11 集会 日本と朝鮮半島の過去・現在・未来～尹東柱を手がかりに～

2月11日は「建国記念の日」とされていますが、その由来は明治時代に定められた「紀元節」という祝日です。この日は『古事記』や『日本書紀』で初代天皇とされた神武天皇が即位したとされる日で、その日から日本の歴史が始まったという天皇中心の歴史観です。1948年にGHQの意向で廃止されますが、1966年に政府が祝日の法案に定め、翌年から復活しました。戦前は「紀元節」の歌を小学校などで歌わせ、日露戦争の開始をこの日にあわせるなど、国民に皇国史観と軍国主義を押しつける機会としてきたそうです。京都YWCAでは抗議の思いを込めて1980年に第1回の2・11集会在開かれてから、定例のプログラムになりました。

今年の2・11集会是、尹東柱(ユン・ドンジュ)を題材とした映像を鑑賞すること、京都YWCAの日韓ユース交流プログラムの報告をすることを中心に実施されました。

尹東柱は植民地時代に日本に留学し、朝鮮語で詩を書いたことが独立運動につながるとされ、治安維持法違反で京都下鴨警察によって逮捕され、27歳の若さで獄死しました。映像の中には生前彼の書いた詩がたくさん折り込まれていました。

2013年から続けられてきた日韓ユース交流プログラムは、日本と韓国の中高・大学生が相互に訪問し、ホームス

テイしながら交流するものです。彼らが出会い、友達になり、平和をつくる人になることを目的に続けられてきました。2018年には、尹東柱が友人たちと写真に撮影された宇治川の天ヶ瀬つり橋や、同志社大学の詩碑も訪問しました。意見交流の場では、遠くから足を運んでくださった彼のファンの人も多く見受けられ、尹東柱が日韓の架け橋となって様々な人たちとの出会いの場をつくってくれていると改めて感じました。

集会前の1時間は、トッポギやチヂミ、豚汁やおにぎりなどを楽しみました。これらの軽食や販売した韓国のりなどの収益は、すべて日韓ユースプログラムと福島支援プログラムの資金として活用されます。このような時間を参加者のみなさんと共に持てたことに感謝したいです。

(織田 雪江)



報告に耳を傾ける参加者

韓国YWCAのシニアの方々を迎えて 韓日関係の歴史を巡るフィールドワーク



1月11日～14日、日本YWCA主催「日韓シニアカンファレンス」が京都で開催されました。開催中の1月12日、京都YWCA生涯教育事業部では「京都の韓日の歴史を巡る 近代～現在」と題してフィールドワークを企画しました。参加者は韓国YWCAから9名、日本YWCAから17名、京都YWCAから6名の総勢32名でした。

最初に訪問したのは東九条と呼ばれる地域で、戦前から多くの韓国・朝鮮の人たちが住んでいます。東松ノ木団地では、この団地を管理し、住民の生活支援を行っている東九条まちづくりサポートセンター「まめもやし」の方が、東九条の歴史や住民たちのこと、そして、その人たちとの出会いから得た人としての生き方などを話して下さいました。

以前はこの鴨川の土手に韓国・朝鮮の在日の方々が住み、仕事をしてきたことを聞きながらコリアン生活センター「エルファ」に向かいました。日本の介護施設などでは日本の食べ物が口に合わなかったり、当たり前と考えられている日本の文化がわからなかったり。それでも、日本人ではないことを言えずにいる高齢者のために、自分らしくいられる場所として「エルファ」を創設されたことなどを教えてもらいました。

移動のバスの中から「耳塚^{注)}」を見て、秀吉の時代に朝鮮侵略の際に行われたことを説明し、同志社大学構内の韓国人の詩人尹東柱の詩碑を前に、同志社のコリアンの同窓会組織を作る経緯の中でこの詩碑を立てることになったこと、それは朝鮮半島南北の卒業生、そして日本人たちの協力を得て実現できたことなどを話してもらいました。

慌ただしい盛りだくさんな一日でしたが、韓国YWCAの方々はそれぞれの話に耳を傾け、熱心に質問されていました。夜の交流会で、特に東九条での話には感動したという感想を聞き、国家間では難しい問題があるけれど、草の根レベルではお互いに尊重しあえる関係が作れたのではないかと思います。

(安藤 いづみ)

東山の将軍塚青龍殿の大舞台にて



注) 豊臣秀吉の朝鮮侵略の際、首の代わりに朝鮮人の耳や鼻をそぎ持ち帰り埋めた塚

京都 YWCA のリサイクル・リユース活動 「スリフトセール」

子ども服交換会として京都国際学校で始まったスリフトセールは1975年に京都YWCAに引き継がれ、44年間京都YWCAを支え続けましたが、今春、会館ホールの解体とともに幕を閉じることとなりました。自分が使わなくなったものを持参するとメンバーが仕分けや値付けをし、それを必要とする人が安価で持ち帰る、その収益は京都YWCAのミッション推進を財政面から支えるというシンプルなシステムでした。

京都YWCAは京都市ごみ減量会議、通称「ごみ減」に所属し、理事も務めています。「ごみ減」はごみを減らし、環境を大切にしたい町と暮らしの実現を目的に、市民・事業者・行政により構成されています。京都YWCAの地道な「スリフト」での活動が理事就任につながったと考えています。

「スリフトセール」の醍醐味は何といっても「人とモノをつなぐ」ことでした。常連のお客さんは自分の気に入ったものを試着して、似合う・似合わない、ここを直したら着られるかな、など時間をかけて吟味します。メンバーも不要なものを持ち帰られては本末転倒ですから、「サイズがあってないからやめとき」などはっきり伝えます。お客さんには「このいいところは、買わないほうがいいときはちゃんとと言ってくれることね」とよく言われました。

心に残るエピソードはたくさんあります。とある高齢女性が「サイズがぴったりな服があったわ」とうれしそうに買っていた服は渋谷のファッションビルに入っている10～20代女子に人気のブランド。

普通にお店で買い物をすれば絶対に結びつかない服と使い手のご縁に一人でほくそ笑んだことがありました。また、自分が着ていた服が素敵で女性の手へ渡り、後日思いもよらないコーディネートで着用されているのを見るとき、うれしい再会もありました。

「スリフトセール」はたくさんのメンバーに支えられてきました。「雨が降ろうが槍が降ろうが続けなければならない」と毎日仕分けをされていたカーフ・ロイスさんをはじめ、「始末の心」を植え付けていただいた先達に感謝して「スリフトセール」を見送りたいと思います。

(岡 佑里子)



ある日のスリフトセールの様子

第3回ボランティア募集説明会

一緒にボランティアしませんか

多世代・多文化ふれあいコミュニティ事業に取り組む京都YWCAには多彩な活動があり、ボランティアの力で支えられています。会員活動を統括する運営委員会では、今年度初めてボランティア募集説明会に取り組みました。

2月2日には今年度最終の説明会を実施しました。会は、自己紹介、京都YWCA概要説明、各部の活動紹介と続きます。各委員会は参加者の興味・関心を内容に反映させて熱心にアピールし、最後は参加者と個別にコミュニケーションをとりながら活動へお誘いします。結果、6名がボランティア登録をされました。

これまでボランティア希望者の対応は、委員会やグループごとにしていましたが、運営委員会主催の説明会を持つことで、京都YWCAの概要と活動を横断的に伝えることができるようになりました。YWCAは常時ボランティア

を募集しています。自分らしく活動しながら、仲間と共に京都YWCAにしかない豊かな時間を過ごしてみませんか。

(別所 加恵)



熱心な活動アピールに、聴く側も力が入ります

シリーズ ▶ やっています!こんなこと⑦

手話サークル「手話かふえ」始めました

「手話で話すと面白い。耳の不自由な人とも手と手を使って話すことができる」。手話を紹介する絵本にこんな言葉がありました。聞こえに障がいのある人とのふれあいに欠かせない筆談やジェスチャー。更に手話が使えたなら。聞こえないってどういうこと。どんなことに困るの。そんな思いから手話サークルは生まれ、そして、ろう者の講師の方と手話通訳のお二人を迎えて、京都YWCAうららかふえにて月1回の「手話かふえ」が始まりました。

自分の名前を身振り手振りで、時には大笑いしながら伝えてみて、そのあとで正しい手話での自己紹介を学んだり、身の回りの出来事をジェスチャーで伝えつつポイントの言葉の手話表現を学んだり。楽しく進んでいく手話学習は、そこに手話が存在するだけの、特別な垣根など何もない学

びの場となっています。楽しい先生と陽気な参加者、笑いの絶えない「手話かふえ」にぜひ一度ご参加ください。

(安永 雅代)



手話かふえの風景(うららかふえにて)

ピーター・バラカン DJ ライブ in Kyoto

10 回目となるライブのテーマは「ザ・ビートルズ」。
名曲の数々と軽妙なトークを、約 90 名の参加者の皆さんに楽しんでいただきました。(2 月 23 日開催)



「京都 YWCA 未来応援募金」へのご協力をお願い

京都 YWCA が推進する「多世代・多文化および女性・子どものエンパワメント」事業へのご支援を心よりお願いいたします。

郵便振替：01080-9-1566

加入者名：公益財団法人京都 YWCA

*通信欄に「未来応援募金」とご記入ください。

京都 YWCA へのご寄付の詳細は事務所に問い合わせただくか、ホームページをご覧ください。

<http://kyoto.ywca.or.jp/support>

賛助員募集!

賛助員になっていただくと、ニュースレター、イベント案内、事業報告書をお送りします。

賛助費(年額)：個人 5000 円もしくは 10,000 円
団体 10,000 円



京都 YWCA 改修工事のお知らせ

京都 YWCA では本年 3 月 6 日～5 月中旬まで会館改修工事を行います。それに伴い、来館の皆様には随時出入り口の変更をお願いすることになります。

また、ふれあいの居場所食堂「うららかふえ」は以下の期間、休業させていただきます。

3 月 12 日(火)～20 日(水)

4 月 9 日(火)～5 月 6 日(火)

ご迷惑をおかけしますが、何卒よろしくお申し上げます。

1・2月/理事会報告

- 自立援助ホーム「カルーナ」が「新年のつどい&成人のお祝い会」開催(1/14)。
- 毎月 1 回開催のスリフトセール(リサイクル市)は現在の形を一旦終了するためファイナルセールを実施(2/16)。
- チャリティーイベント：恒例の「ピーター・バラカンライブ」実施(2/23)。
2019 年度は 11/30(土)アルティホールにて「アストロリコ四重奏・タンゴ」を予定。
- 2018 年度末見込みおよび 2019 年度予算を協議。
- 11 月に南アフリカで開催される世界 YWCA 総会に京都 YWCA より若者 4 名を派遣。
- 会費段階制の改訂および年少会員制度について協議し定期会員集会で提案。
- 大交流会「ありがとうホール～京都 YWCA のいままで、いま、これからを語ろう」(3/2)の企画・準備および参加呼びかけ。
- 3 月より煉瓦塀・外壁補修等の工事(～5 月)を開始。

ご寄付ありがとうございました。

2018年12月1日から2019年1月31日 寄付者一覧(敬称略、順不同)

一般寄付

松永公子、上村愈巳子、出店都、山村茂代、岡佑里子、西原純子、井上依子、平安女学院中高宗教センター、日本キリスト教団桂教会、(有) KFE、匿名 1 名

今井貴美江、松田千治、ほーぼのぼの有志

ブクラへ

ブクラ有志

福島プロジェクトへ

宮武恒夫、松田千治、有田孝子、木戸さやか、山崎典子、加藤喜美枝、弘中奈都子、別所加恵、梶川雅子、石津和子、寺尾鈴子、

在日大韓キリスト教会東山教会、クリスマスバザー参加協力金

*活動グループ連絡会

手話サークルへ

手話サークル有志

*ファンダレイジング委員会

クリスマスバザール

山本順三、藤浦真由美

*うららかふえ委員会

木戸さやか

*自立援助ホーム「カルーナ」

後援会費・寄付

林衛、中村愛音、小室京子、筒井奈都子、榎本愛美、伊東真喜子、木戸さやか、小川久美子、別所加恵、野崎千代、長瀬正子、

日本キリスト教団伏見教会、日本キリスト教団室町教会オリブの会、

日本聖公会聖アグネス教会、

日本聖公会京都教区、

日本福音ルーテル本郷教会、

京都府更生保護女性連盟、

(社福) 西陣会、

日本キリスト教団京都教区京都南部地区

教育奨励基金

有田佳子、井上悦子、中村愛音、

吉村佳代子、木戸さやか、

高島照子、別所加恵、富田恵津子、

認定こども園聖三一幼稚園

*賛助費

窪田左知己、佐野千枝子、

佐伯昌和

各指定寄付

*未来応援募金

別所加恵、篠田茜、上村愈巳子、筒井奈都子、神岡茂子、有田孝子、中村和雄、西本玲子、平野裕之、下村泰子、弘中奈都子、舟木加代、張善花、明石好蔵、神門佐千子、大島博子、寺尾鈴子、井上依子、日韓カンファレンス参加者一同

*世界 YWCA 総会派遣募金

木戸さやか、神岡茂子

*親・子育て支援活動委員会

親子委員会有志、

親子ライブラリー有志

*多文化共生委員会

永井靖二、マーサ メンセンディーク、江川みゆき

APT へ

上内英子、西原美那子、

上村愈巳子、常光和穂、

北垣由民子、林律、川島康史、

竹内昌代、大津恵子、杉山知子、

山下真、菅原充子、阿久澤麻理子、

仲本直子、嘉本伊都子、

木戸さやか、大畑泰次郎、

東山正明、永井靖二、高山亨、

宇山進、

ヌヴェール愛徳修道会本部修道院、

ノートルダム教育修道女会、

希望の家カトリック保育園、

平安女学院中高宗教センター、

同志社中学校

日韓ユース交流プログラムへ

木戸さやか

*平和・環境委員会

永井靖二、清水義

ほーぼのぼの会へ

KYOTO YWCA No.549

2019年3月号(3月1日発行)

発行人：上村愈巳子

発行所：公益財団法人京都 YWCA

〒602-8019 京都市上京区室町通水上ル近衛町44

電話：(075)431-0351

FAX：(075)431-0352

e-mail：office@kyoto.ywca.or.jp

HP：http://kyoto.ywca.or.jp

郵便振替：01080-9-1566

口座名義：(公財)京都 YWCA

定価：奇数月 1 日発行(1部 50 円)